学校法人 兵庫医科大学

広報

兵庫医科大学　兵庫医療大学

兵庫医科大学 ささやま医療センター 開院

第 104 回医師国家試験の結果と今後の方向性
最近の主な出来事、トピックス
平成 22 年度科学研究費補助金等の交付決定
平成 21 年度決算
職場リポート
卒業生紹介

vol.206
2010年6月号

大学探訪　兵庫医科大学ささやま医療センター記念碑

この淡い褐色の御影石に刻印されている書は新家理事長が揮毫（きごう）されたものです。「『建学の精神に則り、丹波篠山の地での新しい全人的医療の展開と優れた医療人育成という大きな使命に立ち向かう』という強い思いを込めながら、何度も何度も書き直しました」と新家理事長。ささやま医療センターを訪れた人々を静かに迎えてくれます。

※揮毫・・・《「揮」はふるう、「毫」は筆の意》

目次

01　大学探訪（表紙について）／目次
02　兵庫医科大学ささやま医療センター 開院
05　最近の主な出来事
■　兵庫医科大学
07　就任挨拶
08　第104回医師国家試験の結果と今後の方向性について
09　子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）への取り組み
10　平成22年度科学研究費補助金等 交付決定
13　学位授与
14　地域医療・総合相談センター長就任
　／看護部 ジェネラリストバッジ授与および生涯学習認定システム60単位取得認定式
■　兵庫医療大学
15　平成22年度科学研究費補助金等 交付決定
16　学校法人兵庫医科大学連携病院の会合同病院説明会を開催／キャンパス内のアメニティ設備を拡充
■　学校法人兵庫医科大学
17　平成21年度決算について
19　理事・評議員の異動／兵庫医療大学のための募金 状況報告
20　学校法人兵庫医科大学基金 状況報告
21　規程等の制定・改正
22　職場リポート
　兵庫医科大学病院　臨床栄養部
　兵庫医科大学病院　看護部　整形外来
24　卒業生紹介
　独立行政法人 国立成育医療研究センター 周産期診療部新生児科　医長 中村 知夫さん（兵庫医科大学第8期生）
　多彩人
　病理学（機能病理部門）　主任教授 寺田 信行さん

兵庫医科大学

ささやま医療センター開院

平成22年5月15日　竣工記念式典開催

平成21年4月に着工し建設中であった兵庫医科大学ささやま医療センターが平成22年4月に完成し、竣工記念式典を執り行いました。当センターは総合診療科と専門診療科の融和による幅広く厚みのある診療を土台に、地域医療の中心的役割を担う病院として、地域医療を実践する医師の育成と、救急医療を含めた総合的で継続的な質の高い医療の提供を目指します。

定礎除幕式

竣工式

内覧会

祝賀会

「兵庫県や篠山市の公的支援、自治会や医師会等の地域医療に対する熱意に支えられここまでくることができました。福田病院長をはじめ、教職員に本当に頑張っていただきました。日本の医療は厳しい状況ですが、このセンターの開院を機に、心機一転、頑張っていきたいと思います。建学の精神に則り、社会の公器として21世紀にふさわしい全人的医療を展開し、また次代を担う医療人を育成していきます。地域の皆様には本学の志を理解していただき、今後とも協力をお願いしたいと思います」

新家　荘平 理事長

「設備やシステム、スタッフ等、どの面においても非常にレベルが高く、ここまでリードしてこられた福田病院長に感謝申し上げます。最先端医療、24時間の救急体制、近隣病院・診療所、施設との密接な連携が期待されるハイレベルな中核病院だと確信しています。本学では地域医療枠推薦などの入試制度も整っており、当センターを活用して地域医療専門医の育成につなげたい。大学として全力でサポートし、ささやま医療センターの発展を進めていきたいと思います」

中西　憲司
兵庫医科大学学長

「このような素晴らしい病院を作っていただき、心から感謝申し上げます。存続にあたっては新家理事長に『小さな市であっても、医療を尽くすことが医科大学の使命である』と言っていただいたことが心に残っています。福田病院長も新たな取り組みをしていただき、篠山市は本当に恵まれています。市民の命と健康を守ることができ感慨無量です。安心して暮らすことができるようになれば、定住者が増えることも期待できます。新しい篠山市を育み、兵庫医科大学の皆様にも応えていきたいと思います」

酒井　隆明 篠山市長

「新病院棟の建設と同時に、接遇の改善、大学病院としてのプロ意識、チーム医療の3つを柱に、スタッフと相談しあって改革を進めてきました。今後も、『兵庫医科大学、兵庫医療大学、ささやま医療センター』『丹波篠山地域、三田地域、ささやま医療センター』『リハビリテーションセンター、老人保健施設、ささやま医療センター』などさまざまなトライアングル構想を生かし、地域の皆様に納得していただけるような医療を提供していきたい。存続にご尽力いただいた篠山市、自治会、建設に関わっていただいた全ての方々に心より感謝申し上げます」

福田　能啓 病院長

平成22年6月1日　診療開始

旧篠山病院は平成9年10月に国から「国立篠山病院」の経営移譲を受けて運営を開始しました。平成19年9月に国有財産譲渡契約に規定された10年が経過し、累積赤字が続く中で、兵庫県、篠山市、本学の三者間において篠山病院存続に係る話し合いが続けられ、存続の見通しが立った平成20年7月に『篠山病院の運営と整備に係る基本協定』が締結されました。その後、平成21年4月に老朽化していた旧篠山病院の北側に新病院棟の建設が始まり、名称も「兵庫医科大学ささやま医療センター」と決定しました。

そして、平成22年6月1日午前8時に正面玄関前でテープカットが行われ、福田病院長の開院宣言とともにささやま医療センターの診療がスタートしました。

「家庭医療医」を養成する、地域に密着した医療センター

福田　能啓 病院長

兵庫医科大学ささやま医療センターでは高度先進医療を目指す専門的診療と地域医療に必要な全科型診療を進めてまいります。専門の診療科と総合診療・家庭医療科の協力のもとに小児・産科婦人科診療の充実、および断らない救急体制を確立させ、また、さまざまな職種との連携を駆使して、患者さんの目線に立った診療を行います。

地域医療を継続し充実させるためには、多方面との連携が必要です。今後、３つのトライアングルの視点を持って臨みたいと考えております。１つめは「兵庫医科大学病院（西宮）・兵庫医療大学（神戸）・ささやま医療センターの連携」、２つめは「篠山市医師会・篠山市民の皆様・ささやま医療センターの連携」のトライアングルです。そして「丹波篠山地域・三田地域・ささやま医療センターの連携」が３つめとなり、三角形のそれぞれの「辺」を太く強くする努力を重ねていく所存です。

1F　診察室や処置室をはじめ、救急処置室、CTやMRIなどの各種検査室などがあります。

■玄関ホール　グランドピアノを設置し、コンサートなども実施予定

■診察室・処置室　スタッフが診察室間を行き来しやすい構造に

■売店・喫茶室
喫茶室にはウッドデッキのテラスが設けられており、天気の良い日には外に出ることも可能

地域医療を支える充実した設備

128列マルチスライスCT
従来撮影が難しかった心臓領域においても、短時間で高精細な人体断面の撮影が可能

電子カルテ
コンピュータのデータベースでカルテを管理し、院内ネットワークを使って情報を共有

名称	兵庫医科大学ささやま医療センター
設置者	学校法人兵庫医科大学
所在地	〒669-2321　兵庫県篠山市黒岡5番地 TEL.079-552-1181　FAX.079-552-5343
開設年月日	平成9年10月１日
敷地面積	17,391.97㎡
延床面積	11,953.02㎡
診療科目	総合診療科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌・代謝内科、神経内科、肝胆膵内科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、ペインクリニック科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、麻酔科
病床数	180床（一般病床136床、療養病床44床）
休診日	土曜、日曜、祝日、年末年始（12月29日～１月３日）、創立記念日（11月22日）

2-4F　２階は療養病床、３、４階は一般病棟で、３階には産科、４階には手術室があります。

■病室　個室と一般病室（4人部屋）があり、各部屋にはシャワー付の洗面台を設置

■スタッフステーション
医師、看護師、コメディカル等、さまざまな職種が連携して患者さんをサポート

■新生児室・分娩室
3階西病棟は産科の病棟で、分娩室や新生児室を設置

■食堂・デイルーム
各病棟に食堂兼デイルームがあり、ご家族や来院者との談話等にも使用可能。床および腰板は木目調で、あたたかな雰囲気を提供

■手術室
4階に３つの手術室があり、ご家族のための控え室も設置

全人的医療を目指した、垣根のない施設運営

ささやま医療センター、リハビリテーションセンター、ささやま老人保健施設の３施設はバリアフリーの廊下で結ばれて、より移動がし易くなりました。施設間での紹介手続きを簡略化するなど利用者の立場で、医療、リハビリテーション、介護のよりスムーズな連携を実現します。

兵庫医科大学ささやま老人保健施設
鉄筋コンクリート造地上4階
延床面積4,418.80平方メートル
入所定員100人
通所リハビリテーション定員40人
介護予防通所リハビリテーション定員40人

兵庫医科大学リハビリテーションセンター
鉄筋コンクリート一部鉄骨造地上１階
延床面積1,655.26平方メートル

13年の歩み

平成9年10月
本学初の分院として旧篠山病院再スタート

平成11年6月
リハビリテーションセンター開設

平成11年9月
老人保健施設開設

平成19年9月
国有財産譲渡契約に規程された10年経過

平成20年7月　存続決定
（平成20年7月14日　基本協定調印式）

平成21年4月　新病院棟建設工事着工
（平成21年4月6日　地鎮祭）

平成22年4月　新病院棟完成
（平成22年4月30日　建物引き渡し）

最近の主な 出来事

4月 April

1	■学校法人兵庫医科大学	入職式	
2	■兵庫医科大学	大学院入学式	
3	■兵庫医科大学	入学式／保護者説明会	
	■兵庫医科大学	新入生オリエンテーション (3・5・10日・16－17日)	➡
4	■兵庫医科大学	白衣授与式	➡
5	■兵庫医療大学	入学式／保護者説明会	
	■兵庫医療大学	新入生オリエンテーション (5－6日・9・10・16・30日)	➡
12	■兵庫医科大学	FD講演会	
14	■兵庫医科大学	学位授与式	P13
	■兵庫医科大学病院	市民健康講座 「下肢閉塞性動脈硬化症のはなし」 (循環器内科　川崎 大三 助教)	
15・16	■兵庫医療大学	社会人スキル対策講座	➡
17	■兵庫医療大学	医療薬学講演 「これからのチーム医療：患者さんと共に進める医療を目指して」(松田 暉 学長)	
20・22	■兵庫医療大学	学生相談室イベント	➡
28	■兵庫医科大学病院	市民健康講座 「難聴のお話」(耳鼻咽喉科　足達 治 講師)	

4/4 ■兵庫医科大学 平成22年度白衣授与式

３－３講義室において新５年生を対象に行われました。学生たちは校章と氏名が刺繍された白衣を臨床に携わる教授陣から授与され、固い握手を交わし激励を受けました。その後「ヒポクラテスの誓い」を唱和し、臨床実習を前に気持ちを新たにしました。

心肺蘇生法実習

4/3 ■兵庫医科大学 新入生オリエンテーション(3・5・10日・16-17日)

平成２２年度は医学部１１０名が入学し、アドバイザーグループ懇談会（３日）、学習（教務）に関するオリエンテーション（５日）、心肺蘇生法実習（１０日）、三洋電機研修センター（神戸市垂水区）での１泊２日オリエンテーション合宿（１６－１７日）に参加しました。（授業は６日から開始）

ＢＬＳ講習会

4/6 ■兵庫医療大学 新入生オリエンテーション(5-6日・9・10・16・30日)

平成２２年度は薬学部１５０名、看護学部１０９名、リハビリテーション学部９５名（理学療法学科５１名、作業療法学科４４名）の３５４名が入学し、大学生活や教育に関するオリエンテーション（５－６日）、TOEIC試験（９日）、アドバイザー懇談会・ＢＬＳ講習会（１０日）、危機管理に関するオリエンテーション（１６日）、健康に関するオリエンテーション（３０日）に参加しました。（授業は７日から開始）

5月 May

8	■兵庫医療大学	学校法人兵庫医科大学連携病院の会合同病院説明会	P16
11・12	■兵庫医科大学病院	看護の日記念行事	➡
15	■篠山病院	ささやま医療センター竣工記念式典	P2
	■兵庫医科大学病院	第3回病薬連携セミナー	
19	■兵庫医科大学病院	市民健康講座 「心臓の手術について－心臓手術は何歳まで可能か－」 (心臓血管外科　光野 正孝 准教授)	

TOPICS

6/1 ささやま医療センター　開院

4/15－16 ■兵庫医療大学 社会人スキル対策講座

株式会社毎日コミュニケーションズ小西 紀子氏をお迎えし、看護学部、リハビリテーション学部４年生を対象に、就職活動に必要な社会人スキルについてご講演いただきました。挨拶やお辞儀、言葉遣い、電話、手紙、メールのマナーなど基本的な項目に加えて、今回は自己PR・志望動機などを含めた履歴書の書き方を指導いただきました。２日目には全員が参加する模擬面接実習が行われ、実習を受けた学生からは「自分で考えたPRや志望動機では足りない部分が沢山あり、大変勉強になりました。ポイントを押さえて改善していきたいです」など、「大変参考になった」との感想が多く寄せられ、就職活動ですぐに役立つ講座となりました。

4/20・22 ■兵庫医療大学 学生相談室イベント

この春Ｐ棟２階オクタホールの横にできた『くつろぎスペース』にて、簡単な心理テストを使った「あなたの性格はどんなタイプ？」というイベントが学生相談室主催で行われました。参加した学生はゆったりとした空間の中で性格診断テストを受けるなどして、自分の性格について理解を深めることができました。

ふれあい看護体験

「看護の日」記念コンサート

5/11－12 ■兵庫医科大学病院 看護の日記念行事

１１日：ふれあい看護体験

応募のあった２名が１０－８、１０－７病棟で環境整備や体位変換、配膳などを体験しました。参加した女子高校生は「看護師を目指しているので、色々と勉強して帰りたい」、社会人３年目の女性は「忙しそうですが互いに声をかけあって和やかな雰囲気で働いている様子が印象的でした」と話していました。

１２日：「看護の日」記念コンサート

１号館１階ロビーで入院・外来患者さんとご家族、関係者が『オカリナアートＪＯＹ』の野口 喜広さん、矢野 恵子さん、西原 翔吾さんの演奏を楽しみました。

兵庫医科大学

就任挨拶

化学
主任教授　野坂　和人
＜平成２２年４月１日就任＞

平成２２年４月１日に化学主任教授を拝命いたしました。兵庫医科大学の一員になれたことに喜びを感じるとともに、身の引き締まる思いです。

教養教育には専門教育に直結しない教養教育（リベラルアーツ）と専門課程のための準備教育があり、いずれも知能を啓発する能力を養うための教育です。また、医学部における教養教育は、社会から信頼され、かつ社会に貢献できる医師、研究者育成のスタートの場になります。私は、きっかけは単位を取るためであっても、医学生が他の専門分野に触れ、興味を感じて勉学することは意義のあることだと思っています。一方、「化学」は医学部では準備教育としての性格が強く、生体が示す様々な現象を物質のレベルで理解するための基礎となる学問と位置づけられます。何故なら、化学は物質の組成や相互作用を研究する学問で、生物といえども物質の一形態であり、さらに生命活動は物質の相互作用に他ならないからです。従って、生命現象を論理的に理解するための考え方が身につくような授業をすることが私の理想です。

今年は化学担当教員が総入れ替えになり、私と時を同じくして江嵜 啓祥 助教も赴任しました。２人とも本学の発展のため教育と研究に努力する所存です。どうぞ皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

兵庫医科大学

就任挨拶

精神科神経科学
主任教授　松永　寿人
＜平成２２年４月１日就任＞

このたび、守田嘉男前主任教授の後を引き継ぎ、兵庫医科大学精神科神経科学講座の主任教授、および診療部長に就任いたしました。本科のもつ伝統、特に精神医学の発展や地域医療、そして社会福祉に多大な貢献を果たされてきた歴史を考えれば、当教室を任されたことには、その責務の重大性を痛感すると伴に、大きな喜び、そしてやりがいを感じております。

昨今の厳しい社会情勢において、うつ病や神経症などに罹病し、精神科を受診する患者さんが急増しております。また児童青年期に関わる問題から、高齢化社会に伴う認知症対策、さらには他の診療科で治療を受けられている患者さんのメンタル・ケアなど、当科に期待されている領域は近年ますます拡大する傾向にあります。この様な状況の中で、地域の精神科医療の中核として社会貢献していくことは、並大抵のことではないですが、他科や地域医療機関の先生方と協力し連携を深め、教室員一同日々研鑽を重ねて行きつつ、その役割を果たしていきたいと考えております。

また医師国家試験対策を重視し、実地臨床に即した実践的教育を図りながら、精神科に興味を持ち入局いただける先生を増やしていければと思っています。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

兵庫医科大学

就任挨拶

内科学　糖尿病科
教授　宮川　潤一郎
＜平成２２年４月１日就任＞

私は平成１７年１月兵庫医科大学 内科学糖尿病科 助教授に着任し、この度、教授を拝命致しました。昭和５４年に広島大学医学部を卒業後、３年間、同大学および大阪大学医学部解剖学講座（藤田尚男教授）で助手として内分泌細胞の機能形態学を修めた後（昭和５５年より藤田教授の大阪大学教授就任に伴い大阪大学へ転任）、昭和５８年より大阪大学第二内科（現、内分泌・代謝内科）に入局し、内分泌代謝研究室にて糖尿病・内分泌疾患の臨床、研究、教育に従事して参りました（平成１２年より内分泌・代謝研究室チーフ）。

糖尿病は地球規模で増加の一途を辿っており、わが国においても２，２００万人以上（強く疑われる人を含めて）に増加しており、糖尿病専門医の果たすべき役割と期待は増々大きくなっております。しかし、未だ糖尿病の治癒（cure）を可能にする治療は存在しません。最近臨床応用が可能となった「インクレチン治療」は、わずかながらもcureを期待させる治療法といわれており、糖尿病治療は新たな時代を迎えたと言っても過言ではありません。そのような状況の中で兵庫医科大学の糖尿病科は同治療の先駆的・指導的役割を果たしております。

糖尿病科（難波光義主任教授）が創設されて１０年目を迎え、医局員も増加、講座の体制も充実して参りました。地域医療における糖尿病診療の基幹病院としての責任を果たすのみならず、医局員とともに兵庫医科大学の糖尿病臨床・研究および教育の発展に全力を尽くす所存でおりますので、今後とも御指導、御鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

兵庫医科大学

第１０４回医師国家試験の結果と今後の方向性について

教務部長　野口　光一

平成２２年２月１３－１５日に施行されました、第１０４回医師国家試験の合格発表が、３月２９日に行われました。全国での受験者数、合格者数、合格率と本学出身者のデータを表１に示します。

	受験者数	合格者数	合格率
全国計	８，４４７（＋１９）	７，５３８（－１３０）	８９．２（－１．８）
うち新卒者	７，７０１（＋７２）	７，１４７（－８７）	９２．８（－２．０）
兵庫医科大学	１０１（－１８）	９２（－２３）	９１．１（－５．５）
うち新卒者	９５（－９）	９２（－１２）	９６．８（－３．２）

表１　第１０４回医師国家試験の結果（括弧内は昨年比）

合格基準は、①一般問題６２．８％以上、②臨床実地問題６４．６％以上、③必修問題８０％以上、④禁忌枝問題選択３問以下の４条件を満たすことであり、採点除外等の取り扱いの問題が１５問ありました。この１５問という過去最高に並ぶ除外問題数は１０４回試験の特徴であり、特に必修問題では２００点満点のうち１４点分が除外等の対象でした。これは、正答率の低い問題を何問除外するかによって、絶対基準であるはずの必修問題でさえ、自由に合格基準を変更できることを示しております。①②に関しては従来通り相対基準（偏差値３５）で決めていると思われます。また、④の禁忌枝は昨年までは２問以下が条件でしたが、今年は３問以下にハードルが下がりました。つまり、すべての条件においてハードルはvariable（変動性）であり、受験者全体との競争試験である側面、そして合格基準の操作による合格者数のコントロールという側面が明確になってきました。また、医師不足という状況においても、昨年に比べて合格率が約２％ダウンした結果全国で９００名が不合格となっており、「成績の悪い医師を作るつもりはない」という厚生労働省の方針は当分変わりそうにありません。

さて、本学の医師国家試験の成績は、昨年の新卒１００％には及びませんでしたが、新卒９５名中９２名合格（９６．８％）と健闘致しました。問題難化のため合格率上位の常連大学が合格率を下げた中、新卒合格率の順位では全国私立大学医学部／私立医科大学２９校中４位であり、これは新卒生が本当によく頑張った結果であります。心より彼らの努力を称えたいと思います。昨年夏頃には前年度の１００％に油断しているのではという心配もありましたが、卒業試験前後からの頑張りは本当に素晴らしかったと思います。

今後の方向性に関しては、現時点の医学教育全般にわたる改革を、少なくとも数年以上継続することが極めて重要であると思います。医学教育センターの鈴木主任教授、成瀬准教授、塩沢客員教授の個人的な献身的ご努力には本当に頭がさがります。問題点は、これら個人的な努力に頼るのではなく、安定した医学教育システムとして体制を整備する必要があることです。また６年生の卒業保留者を他大学レベルまで減らすという、本学最大の課題も解決する必要がありますが、これに向けては少なくとも数年は教務関係者はもちろん全学的な取り組み・努力を継続する必要があります。

教務委員会では全学年の医学教育カリキュラムの改革をスタート致しました。２年間で完成させるというドラスティックな改革であり、平成２２・２３年度で新カリキュラムは完成致します。当分はマイナーチェンジで済むような、完成度の高いものになったのではと思っております。また、４年終了時の共用試験に加えて本学独自の総合進級試験を導入致しました。これらはすべて、「低学年から規則正しい勉強の習慣を獲得し、基礎的知識をきちんと身につけた上で５，６年次臨床実習へ進む」という本学の基本的教育戦略に基づいた改革であります。さらに学生諸君が納得できる、公正な試験体制、緩みがなくぶれのない進級判定が何より重要です。

６年次カリキュラムは全国的にみても手厚いものとなっておりますが、今年度はさらに従来の反省点を踏まえ、より効率的な学習支援を行いたいと思います。１０４回の医師国家試験が難しく合格率が低かったため、来年度１０５回はより各大学間の競争が激化する可能性が大です。医学教育センターを中心に一層のサポート体制の充実を図り、教務委員会としては決して油断することなく厳格に卒業判定を行いたいと考えております。現６年生の皆さんにはより一層の奮闘を期待しています。

兵庫医科大学

子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）への取り組み

公衆衛生学　主任教授　島　正之

近年、子どものアレルギー疾患や先天異常等の発生頻度が増加していることが報告されています。その原因として、子ども自身が生まれつき持っている特性だけでなく、胎児期から小児期にかけての化学物質への曝露や生活習慣などとの関連が指摘されています。こうした環境要因が子どもの健康に与える影響を明らかにするため、環境省では、平成２２年度より「子どもの健康と環境に関する疫学調査（エコチル調査）」を行うことになりました。この調査は全国で１０万人を対象として、妊娠中から子どもが生まれて１３歳になるまで長期間にわたってフォローアップを行い、臍帯血に含まれる化学物質や大気、水、食事などの生活環境と子どもの健康状態との関係を調べるものです。

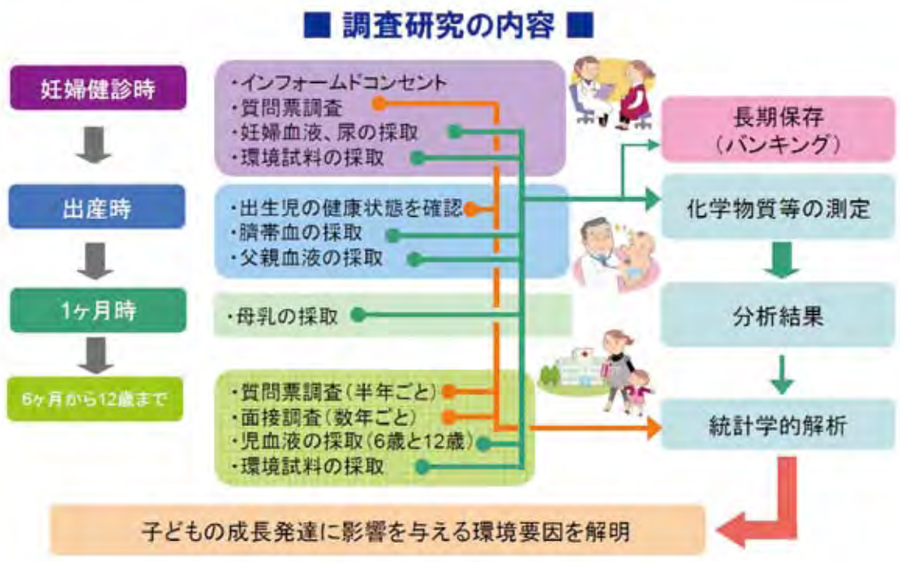
こうした調査を行うため、全国で１５カ所のユニットセンターが設置され、それぞれが対象地域を設定して、地域内に居住されている方に参加をお願いすることになりました。ユニットセンターは平成２２年１月に公募され、その一つとして兵庫医科大学が選定されました。関西地区では本学の他に京都大学と大阪大学がユニットセンターに選定されています。

本学では尼崎市に在住の妊婦さんと出生されたお子さんを対象として、平成２３年１月から調査協力者のリクルートを開始し、３年間で６，６００人の方に参加をお願いする予定です。尼崎市内の医療機関はもとより、周辺地域の医療機関にもご協力をいただき、調査協力者のリクルートを行います。調査を進めるために、学内に公衆衛生学、産科婦人科、小児科を中心としたユニットセンターを設置するとともに、尼崎市、医師会、協力医療機関等との連携を行うために兵庫エコチル調査運営協議会を設置する予定です。

具体的には、同意をいただいた妊婦さんに生活習慣をお尋ねするとともに、血液や尿を採取させていただきます。また、出産時には臍帯血を採取して、化学物質の含有量を調べます。お子さんは、生まれたときの健康状態を調べるほか、１３歳になるまで定期的に質問票や面接を通して生活習慣や健康状態についてお尋ねします。調査結果は参加された方にフィードバックを行い、必要に応じて専門医を紹介するなど、参加していただいたお子さんの疾病予防や健康増進にもつながるようにしたいと考えています。

これらの調査結果の分析・解析により、環境が子どもの成長や発達に与える影響を明らかにし、次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境の実現を目指して取り組んでまいります。

環境省で小沢環境大臣（右）からユニットセンター認定書を授与される中西学長（左）
（平成22年4月12日ユニットセンター認定書授与式にて）



兵庫医科大学

平成２２年度科学研究費補助金交付決定

下記のとおり、平成２２年度は１１１件 総額２３３，０６７千円（うち直接経費１８５，７９０千円、間接経費４７，２７７千円）の交付が決定しました。

なお、平成２１年度は９２件 総額２４７，９８４千円（うち直接経費１９８，８８０千円、間接経費４９，１０４千円）でした。

（単位：千円）

研究課題名	所属部局	研究代表者	交付決定額 直接経費	交付決定額 間接経費
基盤研究（B）				
ヘリコバクター・ピロリの慢性感染に与る宿主・病原体関係の解析	病原微生物学	筒井　ひろ子	4,400	1,320
好塩基球によるＴｈ２誘導機構とアレルギー慢性化の解析	免疫学・医動物学	中西　憲司	3,300	990
日本と中国における自動車排出ガスの健康影響の国際比較に関する疫学研究	公衆衛生学	島　正之	3,700	1,110
肺癌における循環血液中腫瘍細胞と血管内皮細胞の臨床的・探索的検討	呼吸器外科学	田中　文啓	2,200	660
悪性グリオーマにおけるWT1免疫療法・化学療法併用新規集学的治療法の開発	脳神経外科学	泉本　修一	2,400	720
超音波医学を駆使した慢性肝炎および非アルコール性脂肪性肝炎の非侵襲的診断法の開発	超音波センター	飯島　尋子	3,400	1,020
高齢者における飲酒習慣と動脈硬化性疾患のリスクとの関連性に関する疫学研究	環境予防医学	若林　一郎	4,000	1,200
好塩基球によるＴｈ２細胞の誘導とアレルギー病態形成に関する研究	先端研（アレルギー疾患研究部門）	善本　知広	5,000	1,500
口腔癌幹細胞の分離・同定と癌幹細胞特異的治療法の開発	歯科口腔外科学	浦出　雅裕	3,300	990
神経障害性疼痛に関わる脊髄ニューロン・グリアの分子形態学的基盤	解剖学（神経科学部門）	野口　光一	6,400	1,920
外科手術による癒着・線維形成過程の分子機構解析と制御法開発と探索医療への展望	外科学（肝・胆・膵外科）	藤元　治朗	5,500	1,650
劣化ウラン兵器の環境と健康への影響評価の現状と国際的規制に関する調査研究	遺伝学	振津　かつみ	2,400	720
基盤研究（C）				
KIT遺伝子改変動物を用いた消化管運動ペースメーカー細胞に発現する分子の解析	病理学（病院病理部門）	礒崎　耕次	500	150
中枢呼吸リズム生成機構の発達過程の解明	生理学（生体機能部門）	越久　仁敬	800	240
腎疾患における酸化ストレスの関与と抗酸化代償機構の解明	生化学	鈴木　敬一郎	1,100	330
炎症性腸疾患に合併するがんの早期診断法の開発：粘液形質の解析	病理学（分子病理部門）	西上　隆之	1,000	300
悪性中皮腫の早期診断法の開発：分泌型および膜結合型蛋白質の網羅的解析	病理学（分子病理部門）	辻村　亨	600	180
ＩＬ－１８誘導性腫瘍細胞遊走抑制因子の同定と遊走抑制機構の解明	病理学（機能病理部門）	山田　直子	800	240
悪性中皮腫発生抑制にかかわる遺伝子多型の検索	遺伝学	玉置　知子	1,300	390
REG蛋白による大腸粘膜再生と癌化に関する研究	内科学（上部消化管科）	福井　広一	500	150
炎症性腸疾患の発癌サーベイランスにおける腸管免疫異常と慢性炎症の意義	内科学（下部消化管科）	松本　譽之	900	270
悪性胸膜中皮腫の細胞・分子生物学的解析と癌幹細胞の同定	がんセンター	藤盛　好啓	1,100	330
肺線維症の予防および治療方法の新規開発	内科学（呼吸器・RCU科）	田端　千春	1,000	300
GLP-１産生L細胞の分化・増殖機構の解明とそれに基づく新規糖尿病治療法の開発	内科学（糖尿病科）	宮川　潤一郎	400	120
トランスグルタミナーゼの新規酵素活性に基づく角化の分子病態解析	皮膚科学	山西　清文	1,000	300
アルギニンの惹起する細胞内シグナル伝達の研究と肝再生促進療法への研究アプローチ	外科学（肝・胆・膵外科）	鈴村　和大	1,000	300
胃癌発癌機構の臨床的解析	外科学（上部消化管外科）	笹子　三津留	1,000	300
肝内胆管癌組織に発現する細胞外マトリックスの機能解析とその臨床応用	外科学（肝・胆・膵外科）	宇山　直樹	1,000	300
ヒト膵臓癌におけるシーエックスシーケモカインの検討（予後・背景因子・分化度）	外科学（肝・胆・膵外科）	佐竹　真	600	180
肺癌手術中の循環血液中への腫瘍細胞遊離放出と術後遠隔転移再発の解析	呼吸器外科学	長谷川　誠紀	700	210
低分子量代用血漿製剤による手術時サードスペースの軽減	麻酔科学	多田羅　恒雄	1,300	390
膀胱癌に対する制限増殖型アデノウイルスベクターを用いた新規治療法の開発	先端研（細胞・遺伝子治療部門）	寺尾　秀治	1,200	360
HLA分子から刺激を受けた非血球系細胞は歯周病巣における体液性免疫優位に関与する	病理学（機能病理部門）	大山　秀樹	1,100	330
オンコスタチンM遺伝子治療による腸管の繊維性癒着の克服	外科学（肝・胆・膵外科）	濱田　哲宏	1,000	300
脳梗塞に対する細胞治療が幹細胞ニッチにおよぼす影響の検討	先端研（神経再生研究部門）	松山　知弘	1,400	420
発声－呼吸モードスィッチングにおける神経機構の解明	生理学（生体機能部門）	荒田　晶子	1,000	300
アレルギー性腸疾患の制圧に向けた免疫寛容機構の解明：制御分子とその産生細胞の同定	病理学（分子病理部門）	鳥井　郁子	1,000	300
感染性ショックの誘導に関わるサイトカイン及び遺伝子の多項目解析	生物学	柏村　信一郎	1,400	420
新規癌細胞分泌タンパク質による早期大腸癌血清診断法の確立	外科学（上部消化管外科）	菊池　正二郎	1,000	300
ラット胃伸展刺激に伴う内臓痛とＴＲＰＡ１チャネル活性化との関連	内科学（上部消化管科）	田中　淳二	1,100	330

（単位：千円）

研　究　課　題　名	所属部局	研究代表者	交付決定額	
			直接経費	間接経費
基盤研究（C）				
腹部症状発現の分子メカニズムの解明－神経炎症と粘膜透過症の食道症状への関わり－	内科学（上部消化管科）	三輪　洋人	900	270
肝癌由来増殖因子の発現制御およびシグナル伝達調節による肝癌増殖制御法の開発	内科学（肝・胆・膵科）	榎本　平之	1,100	330
メタボリックシンドロームにおける鉄代謝異常の機序とそれに基づく新規治療法の開発	内科学（循環器内科）	辻野　健	1,300	390
糖尿病性腎症における抗利尿ホルモンＶ１ａ型受容体の役割と新たな治療法開発	内科学（腎・透析科）	野々口　博史	1,200	360
ヒト白血球抗原半合致造血幹細胞移植療法の安全性確立に向けての研究	内科学（血液内科）	小川　啓恭	1,000	300
新生児の脳発達に伴う脳回及び容積の測定と虚血性脳疾患での評価	放射線医学	石蔵　礼一	600	180
放射線直腸粘膜障害に対する予防と治療―直腸挿入亜鉛製剤の設計と評価―	放射線医学	上紺屋　憲彦	600	180
転写因子ＮＦ－ｋＢ抑制による大腸癌放射線感受性増強効果と非癌部腸管保護作用の検討	外科学（肝・胆・膵外科）	王　孔志	1,100	330
胆管細胞癌に対する新生血管・リンパ管および腫瘍内間質を標的とした分子治療研究	外科学（肝・胆・膵外科）	平野　公通	1,300	390
坐骨神経痛発現メカニズムにおける脊髄グリア細胞活性化の寄与	整形外科学	橘　俊哉	1,100	330
麻酔薬相互作用の神経ネットワーク並行回路近似による解析	中央手術部	上農　喜朗	1,800	540
歯痛の情動記憶メカニズムの解明	歯科口腔外科学	長谷川　誠実	800	240
腺様嚢胞癌血行性転移機構における一酸化窒素合成酵素の関与と転移抑制の検討	歯科口腔外科学	高岡　一樹	1,200	360
ＧＤＮＦの神経因性疼痛に対する鎮痛メカニズムの解明；Ｎａｖ．Ｋｖとの関連	解剖学（神経科学部門）	福岡　哲男	1,100	330
末梢神経損傷後のニューロパチックペインとサイトカインネットワークの関連	ペインクリニック部	神原　政仁	1,100	330
網膜神経細胞の３次元再構築による形態的分類とシナプス結合の解析	生物学	塚本　吉彦	2,600	780
造影超音波による進行肝癌に対する分子標的薬の早期効果判定法の開発	超音波センター	田中　弘教	1,600	480
腎ネフロンに作用するアセチルコリンの分泌経路に関する研究	解剖学（細胞生物部門）	前田　誠司	1,300	390
腫瘍溶解アデノウイルスを用いた悪性中皮腫に対する新規治療法の開発	先端研（生体防御部門）	久保　秀司	1,400	420
抜去した毛包由来幹細胞によるオーダーメイド医療のための基礎研究	遺伝学	吉川　良恵	1,900	570
末梢血全血解析法による血小板・白血球機能由来の動脈硬化指標の確立	環境予防医学	武田　裕司	1,900	570
大気汚染の健康影響評価のための曝露推計モデルの開発：兵庫県学童コホートへの適用	公衆衛生学	谷村　晋	1,100	330
飲酒の抗血栓作用に関連する血小板ＴＲＰチャネルの分子機構	環境予防医学	丸茂　幹雄	2,400	720
不整脈源性右室心筋症原因遺伝子変異は胸腺リンパ体質の分子モデルか	法医学	西尾　元	1,700	510
胃癌の発生と進展におけるタイト結合蛋白クローディンの機能解析	内科学（上部消化管科）	大島　忠之	1,600	480
日米共同研究によるバレット食道の発生ならびに抑制機序の解明	内科学（上部消化管科）	渡　二郎	1,100	330
ウイルス消失例からの肝癌発症の臨床病態と発がん予測因子の同定	内科学（肝・胆・膵科）	西口　修平	1,300	390
アデノシンデアミナーゼ阻害剤による関節リウマチの新規治療開発	臨床検査医学	小柴　賢洋	1,900	570
強迫性障害の新規分類基準の生物学的妥当性、臨床的有用性に関する検討	精神科神経科学	松永　寿人	700	210
胃静脈瘤に対するＢ－ＲＴＯ後の肝機能改善のメカニズムの解明	放射線医学	廣田　省三	1,500	450
肝静脈還流障害による肝再生病態の分子解析と治療アプローチに関する研究	外科学（肝・胆・膵外科）	杉本　貴昭	900	270
散在性大腸癌発生における塩基除去修復遺伝子ＭＹＨの関与の解明と臨床応用への展開	外科学（下部消化管外科）	久野　隆史	1,500	450
肝組織の恒常維持・修復機構における中心的存在としての肝星細胞の役割解明とその応用	外科学（肝・胆・膵外科）	飯室　勇二	1,300	390
骨肉腫の化学療法と免疫療法の有効性向上に関する研究	整形外科学	瀁谷　博之	1,400	420
動物モデルを使った尿路病原性大腸菌のキノロン耐性誘導機序の解明	泌尿器科学	山本　新吾	900	270
卵の発育・成熟過程におけるアンドロゲン作用の基礎的検討	産科婦人科学	堀内　功	2,200	660
癌幹細胞と微小環境（ニッチ）および間質線維芽細胞（ＣＡＦ）の相互作用に関する研究	歯科口腔外科学	森寺　邦康	1,200	360
ｉｎｖｉｔｒｏ発がんモデルを用いた口腔がん発生機構の解析	歯科口腔外科学	野口　一馬	1,200	360
挑戦的萌芽研究				
医師養成における卒前・卒後に連携した新たな臨床能力試験の構築	医学教育学	成瀬　均	500	0
ペルフルオロブタン微小気泡を用いた腎内血流分布の解析	内科学（腎・透析科）	中西　健	500	0
脊髄グリア細胞でのｔＰＡ発現を介した脊髄根損傷モデル特異的疼痛メカニズムの証明	解剖学（神経科学部門）	野口　光一	1,400	0
魚油の静脈投与による侵襲下好中球アポトーシス抑制の解除と組織障害軽減の研究	救急・災害医学	小谷　穣治	1,500	0
上皮細胞を起点にしたアレルギー性鼻炎発症機序の解明	先端研（アレルギー疾患研究部門）	善本　知広	1,500	0
免疫・炎症応答が惹起する肝局所ＤＩＣとそれを介した劇症肝炎の解析	病原微生物学	筒井　ひろ子	1,600	0
研究活動スタート支援				
舌正常ケラチノサイト不死化細胞を用いた口腔発癌モデルの作製	歯科口腔外科学	瀬川　英美	890	267

（単位：千円）

研　究　課　題　名	所属部局	研究代表者	交付決定額	
			直接経費	間接経費
特定領域研究				
寄生虫感染と宿主応答	免疫学・医動物学	中西　憲司	18,200	0
神経栄養因子によるペインセンサーＴＲＰＡ１の機能調節機構	解剖学（神経科学部門）	野口　光一	3,000	0
若手研究（Ｂ）				
覚せい剤誘導性ドパミン増加に対するエタノールの作用とアルコール嗜好性の関与	法医学	内海　美紀	1,500	450
プロテアーゼ活性化受容体を介する表皮制御システムの分子病理学的解析	皮膚科学	中川　登	900	270
局所麻酔薬の胎盤移行に対する蛋白結合および母児アシドーシスの影響	麻酔科学	植木　隆介	1,000	300
血管ニッチの有無による脳傷害誘導性神経幹細胞の移植効果の検討	先端研（神経再生研究部門）	中込　隆之	1,100	330
糖尿病病態下における転写因子ＣｈＲＥＢＰの新規活性化機構の解明	生化学	崎山　晴彦	800	240
２層系分数量子ホール状態における巨視的量子コヒーレンスの検証	物理学	福田　昭	1,600	480
化学性呼吸調節機構の分子基盤の解明	生理学（生体機能部門）	平田　豊	1,500	450
豊かな生活環境が及ぼすメタンフェタミン依存に対する影響と薬物依存治療の可能性	薬理学	北中　順恵	1,100	330
周産期呼吸リズム調節とＣＩ－ホメオスタシス：乳幼児突然死症候群の中枢性要因の探索	生理学（生体機能部門）	岡部　明仁	1,200	360
膝神経節におけるＴＲＰ受容体ファミリーの機能解析	耳鼻咽喉科学	桂　弘和	1,200	360
ヒストン脱アセチル化阻害剤を用いたヒト骨肉腫に対する免疫療法への応用	病理学（機能病理部門）	山根木　康嗣	1,600	480
味や香りに対する情動が咀嚼時の循環応答に与える影響	歯科口腔外科学	長谷川　陽子	800	240
末梢神経損傷後に増加するロイコトリエンの神経因性疼痛への関与	解剖学（神経科学部門）	小林　希実子	1,700	510
マウスの水迷路学習場面を応用した新しいうつ動物モデル	先端研（神経再生研究部門）	土江　伸誉	2,200	660
心房細動と睡眠時無呼吸：呼吸リズムからの心房細動発生機序の検証	生理学（生体機能部門）	増宮　晴子	1,300	390
Ｓｕｐｅｒ　Ｔｈ１細胞の新たな機能に関する研究	免疫学・医動物学	中平　雅清	1,900	570
糖尿病マーカーとしてのＩＬ－１８の有用性評価と新規バイオマーカーの探索	生化学	江口　裕伸	1,700	510
薬剤誘発性ＱＴ延長症候群が疑われる突然死事例における遺伝的背景に関する検討	法医学	高橋　玄倫	1,100	330
糖尿病患者に対する血糖管理強化療法が冠動脈不安定粥腫の安定化に与える効果の検討	内科学（循環器内科）	藤井　健一	1,800	540
貧血合併心不全における分子機構解明と新規治療への応用	内科学（循環器内科）	内藤　由朗	1,600	480
炎症性皮膚疾患におけるＩＬ－３３の免疫学的解析	皮膚科学	今井　康友	1,000	300
大腸癌肺転移切除例における末梢血液中循環腫瘍細胞および内皮細胞の臨床的意義の検討	呼吸器外科学	橋本　昌樹	1,100	330
閉鎖除圧療法における神経の役割に関する研究及び臨床への応用	形成外科学	藤原　敏宏	2,100	630
シェーグレン症候群の口腔内病変における唾液中ＥＧＦ産生能	内科学（リウマチ・膠原病科）	東　直人	1,300	390

平成２２年度厚生労働科学研究費補助金交付決定

（単位：千円）

研究事業名	研　究　課　題　名	研究代表者	交付決定額
肝炎等克服緊急対策研究事業	血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎および臨床的研究	西口　修平 （内科学（肝・胆・膵科））	24,000 （うち間接経費4,000）
がん臨床研究事業	治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん（スキルス胃がんなど）に対する標準的治療の確立に関する研究	笹子　三津留 （外科学（上部消化管外科））	29,280 （うち間接経費5,280）
難治性疾患克服研究事業	致死性骨異形成症の診断と予後に関する研究	澤井　英明 （産科婦人科学）	19,500 （うち間接経費4,500）

平成２２年度科学研究費補助金（奨励研究）交付決定

（単位：千円）

所　属	研　究　課　題　名	研究代表者	交付決定額
研究技術第一課	親水性有機リン系農薬アセフェートおよびメタミドホスの体内動態と毒性の解析	足立　伸行	570
リハビリテーション部	開心術後患者の運動耐容能に筋酸素動態が及ぼす影響について	井谷　祐介	600

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

（単位：千円）

助成団体名	研　究　課　題　名	研究者	交付額
（財）兵庫県健康財団	肝癌由来増殖因子（HDGF）の標的遺伝子同定と血中濃度測定による肝癌の病態解明	榎本　平之 （内科学（肝・胆・膵科））	400
（財）兵庫県健康財団	HLA半合致移植における免疫学的寛容の研究	池亀　和博 （内科学（血液内科））	300

兵庫医科大学

学位授与

氏　名	専攻系	博　士　論　文　名	報告番号	授与年月日
松本　実佳 （まつもと　みか）	内科系	Iron Regulatory Hormone Hepcidin Decreases in Chronic Heart Failure Patients with Anemia （慢性心不全患者における鉄調節因子ヘプシジン濃度）	甲第536号	H21.3.31
石河　開 （いしこ　かい）	医科学	Hyperglycemia induced cell growth and gene expression via the Serum Response Element through RhoA and Rho-kinase in vascular smooth muscle cells （高血糖刺激のRhoA/Rho-kinaseおよびSerum Response Elementを介した血管平滑筋細胞増殖と遺伝子発現に及ぼす影響）	甲第537号	H22.2.4
柏　薫里 （かしわ　かをり）	外科系	Effects of Epigallocatechin Gallate on Osteogenic Capability of Human Mesenchymal Stem Cells After Suspension in Phosphate-Buffered Saline （PBS中保存後ヒト間葉系幹細胞の骨分化における緑茶カテキンの効果）	甲第538号	H21.3.31
大野　新一郎 （おおの　しんいちろう）	医科学	Pyroglutamic Acid Promotes Survival of Retinal Ganglion Cells after Optic Nerve Injury （ピログルタミン酸の軸索切断された網膜神経節細胞に対する神経保護効果）	甲第539号	H22.3.31
小金丸　聡子 （こがねまる　さとこ）	医科学	Human motor associative plasticity induced by paired bihemispheric stimulation （両側半球対刺激によるヒト運動野における連合性可塑性の誘導）	甲第540号	H22.3.31
大久保　正道 （おおくぼ　まさみち）	先端医学	Leukotriene synthases and the receptors induced by peripheral nerve injury in the spinal cord contribute to the generation of neuropathic pain （末梢神経損傷後の脊髄におけるロイコトリエン合成酵素、および受容体の増加が神経因性疼痛の発症に関与する）	甲第541号	H22.3.31
藤川　昌敏 （ふじかわ　まさとし）	先端医学	脳梗塞における骨髄単核球投与の脳血流改善効果の検討	甲第542号	H22.3.31
安光　亮洋 （やすみつ　あきひろ）	医科学	Clinical significance of serum VEGF in malignant pleural mesothelioma （悪性胸膜中皮腫における血清VEGFの臨床的重要性について）	甲第543号	H22.3.31
田中　茂美 （たなか　しげみ）	医科学	Assessment of screening tests for sleep apnea syndrome in the workplace （職域における睡眠時無呼吸症候群のスクリーニングテストの評価）	甲第544号	H22.3.31
近藤　隆 （こんどう　たかし）	医科学	Transient receptor potential A1 mediates gastric distention-induced visceral pain in rats （ラット胃伸展刺激に伴う内臓痛におけるTRPA1の関与）	甲第545号	H22.3.31
佐竹　敦志 （さたけ　あつし）	医科学	Separation of antileukemic effects from graft-versus-host disease in MHC-haploidentical murine bone marrow transplantation: participation of host immune cells （ＭＨＣ半合致マウス骨髄移植モデルにおける移植片対宿主病と抗白血病効果の分離：宿主免疫細胞の関与）	甲第546号	H22.3.31
大津　奈央 （おおつ　なお）	医科学	Antitumor effects of inhibitors of nitric oxide synthase or cyclooxygenase-2 on human KB carcinoma cells overexpressing COX-2 （COX-2高発現ヒトKB癌細胞における一酸化窒素合成酵素阻害剤およびシクロオキシゲナーゼ-2阻害剤の抗腫瘍効果）	甲第547号	H22.3.31
合田　亜希子 （ごうだ　あきこ）	循環器病学	Inappropriateness of ventricular hypertrophy is important as a determinant of BNP but not of diastolic filling in untreated hypertensive patients （未治療高血圧症患者における不適切な左室肥大と血漿ＢＮＰ値、左室拡張能の関連について）	乙第318号	H22.2.4
森山　萬秀 （もりやま　かずひで）	疼痛制御学	Effect of Temporary Spinal Cord Stimulation on Postherpetic Neuralgia in the Thoracic Nerve Area （胸髄神経領域の帯状疱疹後神経痛に対する一時的脊髄刺激療法の効果）	乙第319号	H22.3.11

兵庫医科大学病院

地域医療・総合相談センター長就任

平成２２年４月１日付で、内科学 循環器内科 増山 理 主任教授が就任されました。

「当センターの主たる任務は、われわれ兵庫医科大学病院が先進的な地域中核病院としての真価を発揮して、阪神南医療圏域における他の医療機関と円滑な病診・病病連携が行えるようにコーディネートすることにあります。近隣の医療機関との連携を推進することにより、患者さんを点（病院、診療所）で受けるのではなく、線（連携）で受けることが可能となります。私たちはそれをさらにすすめて、病院・診療所を含めた相互連携（面）で患者さんを受け入れられるようなシステムを推進してまいります。

近隣の医療機関との患者さんのスムーズな紹介・逆紹介の促進はもとより、大学病院内の医療従事者のマンパワーや最新の施設・設備などを有効活用するようにソフト面からバックアップすることも重要な任務です。皆さんのご協力をよろしくお願いします。」

兵庫医科大学病院

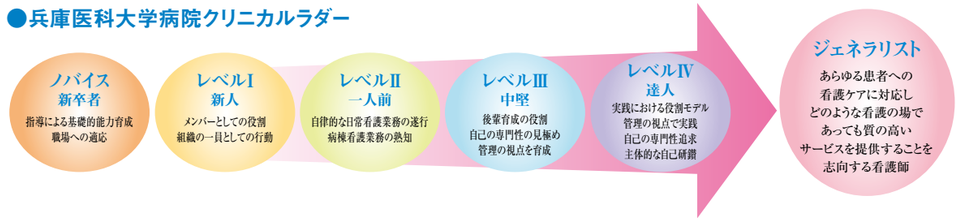
看護部　ジェネラリストバッジ授与および生涯学習認定システム６０単位取得認定式

ジェネラリストバッジ授与者
中央手術部　幸崎　紀論
ICU　山路　さおり

平成２２年５月２５日、ジェネラリストバッジ授与式と生涯学習認定システム６０単位取得認定式が３－３講義室で行われました。

兵庫医科大学病院では、看護師が臨床実践能力に応じて能力開発に取り組むための教育システム「兵庫医科大学病院クリニカルラダー」を設けています。レベルに応じて目標を設定し、自主的に研修プログラムなどを受講してレベルアップをはかり、レベル４（達人）の課題を達成すると「ジェネラリスト」に認定されバッジが交付されます。今回交付された２名を含め、現在７名が「ジェネラリスト」に認定されています。

●兵庫医科大学病院クリニカルラダー



また、生涯学習の観点から、看護師になってからの学習や研修会参加、社会活動、お稽古事などを単位認定する生涯学習認定システムを設けています。大学病院の特徴でもある、多様な疾患や治療に対応できる一定レベルの知識・技術を習得する制度で「専門知識・技術」、「教育・指導」、「一般教養」などを含む８科目に分類され、例えば「看護診断を取り入れた看護過程」研修会参加で２単位、プリセプター研修会参加で１単位、「医療と生命倫理」研修会参加で０．２５単位、１年間のお茶のお稽古３単位などがあります。平成２１年度は１２名が６０単位を取得しました。

●生涯学習認定システム６０単位取得者

６西病棟	長谷　行見	１１西病棟	岩倉　己穂	中央手術部	北岡　令
７西病棟	中村　滋子	８－１病棟	徳田　瑞枝	人工透析室	粂川　雅子
７西病棟	山中　知会理	８－１病棟	山田　裕基	ICU	柴田　知子
１０東病棟	木本　洋一	１０－５病棟	岡田　ちあき	ICU	末信　正嗣

兵庫医療大学

平成２２年度科学研究費補助金交付決定

下記のとおり、平成２２年度は３５件 総額５４，５６０千円（うち直接経費４２，８００千円、間接経費１１，７６０千円）の交付が決定しました。

なお、平成２１年度は３０件 総額５５，４８４千円（うち直接経費４４，３６５千円、間接経費１１，１１９千円）でした。

（単位：千円）

研　究　課　題　名	所属部局	研究代表者	交付決定額	
			直接経費	間接経費
基盤研究（B）				
外来化学療法を受ける肺がん患者の生活を支援する情報提供・相談システムの開発と評価	看護学部	網島　ひづる	1,400	420
心不全に対する埋め込み型補助人工心臓による社会復帰を目指した新たな治療法の導入	学長	松田　暉	3,200	960
乳がん早期発見のための乳房セルフケア促進プログラムの開発と妥当性の検討	看護学部	鈴木　久美	3,400	1,020
基盤研究（C）				
内因性血管新生阻害物質活性化を標的とした天然由来新規抗がんリード化合物の創製	薬学部	青木　俊二	700	210
自然の資本化に関する現象学的研究ー「持続可能な開発」の倫理に向けて	共通教育センター	紀平　知樹	700	210
「心の理論」高次テスト（日本版）は高機能広汎性発達障害の補助診断法として有効か？	リハビリテーション学部	伊藤　斉子	700	210
アストロサイトにおける酸化ストレスによるDNA修復酵素とヌクレオシド輸送体の変化	薬学部	田中　康一	700	210
ユビキタス・ネットワークシステムを活用した感染制御技術の向上	看護学部	土田　敏恵	900	270
炎症性メディエーターによるＤＲＧニューロンの感作メカニズム	薬学部	戴　　毅	1,000	300
光触媒による新規複合型レドックス反応の開発	薬学部	甲谷　繁	1,100	330
ＨＧＦアンタゴニスト（ＮＫ４）による滑膜増殖の制御	薬学部	岩崎　剛	1,000	300
認知症高齢者グループホームの終末期ケアにおける看護連携システムの開発	看護学部	平木　尚美	1,100	330
在宅嚥下リハビリテーションのＥＢＭの確立ー高齢者の誤嚥性肺炎予防プログラムの構築	リハビリテーション学部	野﨑　園子	1,000	300
ラジカル種の特性を活用した合成法開拓の新展開	薬学部	宮部　豪人	1,300	390
血小板減少症治療薬インターロイキンー１１を用いた有効な心不全発症予防療法の確立	薬学部	前田　真貴子	1,000	300
シスプラチン腎障害のメカニズム解明とその軽減に向けた薬物療法の創出	薬学部	上田　晴康	1,600	480
高内皮細静脈特異的な細胞動員シグナルによる自然免疫と獲得免疫を繋ぐ細胞動態制御	薬学部	田中　稔之	1,500	450
肥満と活性酸素：メタボリック症候群と動脈硬化の病態に対するＳＯＤの関与	薬学部	大河原　知水	1,900	570
身体活動量を指標とした新しい心臓外科手術後リハビリテーションプログラムの開発	リハビリテーション学部	高橋　哲也	2,100	630
転移性肝がん患者への原発がん手術の体験を反映させた周手術期看護援助方法の考案	看護学部	小西　美ゆき	900	270
メンタルヘルス不全により休職した看護師の実態調査及び復職支援ツールの開発	看護学部	富永　真己	1,400	420
神経因性疼痛における新規Ｋチャネルと交感神経の役割に関する研究	薬学部	山本　悟史	1,200	360
挑戦的萌芽研究				
Ｃ型慢性肝炎患者のセルフマネジメントを促す心理教育的グループ介入プログラムの開発	看護学部	鈴木　久美	1,300	0
近赤外蛍光イメージングに資する新規蛍光色素の戦略的開発	薬学部	前田　初男	900	0
周産期における父親のうつ状態の推移と危険因子ー社会的要因と生物学的要因の重要性ー	看護学部	西村　明子	1,400	0
若手研究（B）				
ＰＥＴ癌検診へのアプローチ：低分子６８Ｇａ標識プローブおよび１１Ｃ標識法の開発	薬学部	吉岡　英斗	900	270
がん臨床試験に参加する患者のセルフ・アセスメント能力向上のための教育用ツール開発	看護学部	高山　京子	1,000	300
親が参加する小学生・中学生の健康教育プログラムの開発	看護学部	工藤　里香	700	210
慢性閉塞性肺疾患患者の憎悪予防のための自己管理を促す心理教育的介入プログラム開発	看護学部	松本　麻里	900	270
悪性中皮腫の多剤耐性獲得におけるヒアルロン酸が誘発する上皮間葉転換の意義	薬学部	大野　喜也	1,600	480
長鎖脂肪酸：アミノ酸抱合経路によるインスリン抵抗性の制御	薬学部	伊藤　崇志	1,600	480
ＰＫＣーε選択的活性化による新規抗認知症治療剤創製と新規ターゲット探索	薬学部	清水　　忠	600	180
他動的下肢体幹運動および努力性横隔膜呼吸運動が腸管運動に及ぼす影響	リハビリテーション学部	森沢　知之	1,000	300
入院する小児の転倒転落リスクアセスメントツールの作成とその効果に関する研究	看護学部	藤田　優一	600	180
排尿障害を有する脳卒中患者における自立支援からみた排尿誘導法の有用性	看護学部	鈴木　みゆき	500	150

平成２２年度厚生労働科学研究費補助金交付決定

（単位：千円）

研究事業名	研　究　課　題　名	所属部局	研究代表者	交付決定額	
				直接経費	間接経費
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	禁煙治療薬による喫煙関連疾患予防法の再評価と効果的な禁煙指導法の確立と普及のための多施設共同臨床試験	薬学部	東　　純一	6,400	0
地域医療基盤開発推進研究事業	諸外国のマグネット・ホスピタルの組織特性とその要素に影響する取り組みに関する研究	看護学部	富永　真己	1,600	0

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

（単位：千円）

助成団体名	研　究　課　題　名	所属部局	研究代表者	交付額
（財）ひょうご科学技術協会	炎症性疼痛の情報伝達制御機構におけるプロテアーゼ受容体ＰＡＲ－２の役割	薬学部	戴　　毅	1,000
（財）がん研究振興財団	がん患者のがん罹患原因、罹患時期の捉え方と治療への取り組みの姿勢との関連に関する研究	看護学部	小西　美ゆき	1,200

兵庫医療大学

学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会を開催

平成２２年５月８日（土）、学校法人兵庫医科大学連携病院の会の会員病院のご協力を得て、看護学部・リハビリテーション学部の４年生を主に、全学部・全学年の学生を対象とした合同病院説明会が本学で開催されました。

学校法人兵庫医科大学連携病院の会は平成２１年４月に発足し、学校法人兵庫医科大学と会員の連携病院が人事の交流により相互の活性化を促進し、組織的な連携を強めること、効率的で有効な学生教育に資すること、地域医療の向上に寄与すること等を目的としています。

今回は、本学から第１期生が卒業する平成２３年に看護師、理学・作業療法士採用を予定している兵庫・大阪・京都の５４病院にお集まりいただき、病院説明等を行っていただきました。当日はレストラン内に病院のブースが設けられ、参加した学生はそれぞれのブースをまわって、病院の基本情報や特色、理念や教育システムの特徴などメモを取りながら熱心に説明を聞いていました。

大学で開催する合同病院説明会は、就職活動のためだけのものではなく、実際に社会で活躍している人の「働く様子や価値観」を学ぶ貴重な機会となります。参加した学生は「まだ２年生で参加するのは早いと思ったが、自分の将来について考えるよい機会になった」、「実際の話を聞くと自分の考えていたイメージと全然違うこともあり驚いた」など、今後のキャリアについて具体的に考える事ができたようです。

兵庫医療大学

キャンパス内のアメニティ設備を拡充

平成２２年度新入生を迎えるにあたり、学生のためのアメニティ設備を拡充しました。お昼休みの食堂混雑緩和のため、M棟２階中央ラウンジに約７０席、M棟３階中央ラウンジに約１１０席、G棟２階中央ラウンジ約４０席、G棟３階中央ラウンジ約１５席、G棟４階中央ラウンジに約４０席、机や椅子を増設しました。

また４月７日（水）から、M棟１階中央ラウンジにお昼限定のランチショップをオープンしました。お弁当やおにぎり、パンやお茶などを購入することができ、お弁当を温めるためのレンジなども用意しています。

学校法人兵庫医科大学

平成２１年度決算について

平成２１年度予算編成方針は、

１．平成１８年度から３年連続で帰属収支差額がマイナスとなっている状況から脱却する。

２．兵庫医科大学、兵庫医療大学の教育・研究の充実、病院診療体制充実の目標に加え、平成２２年６月リニューアルオープンのささやま医療センターと、同じく平成２２年兵庫医療大学大学院設置申請事務手続に向け、万全の準備を期す。

という大きな目標が掲げられました。そして、平成２１年１１月には補正予算が策定され、新規事業の凍結、研究費等過年度繰越分執行停止等の収支改善方策が打ち出されました。

こうした状況の中、決算をむかえ、消費収支計算書の帰属収入から消費支出を差し引く学校法人全体の帰属収支差額は、プラス２７．９億円となりました（篠山病院施設整備関係補助金を除くとプラス６．９億円）。

消費収支計算書上で説明しますと、収入面では、学生納付金は全体で６１．８億円となり、対前年度比７億円増でした。２１年度は医療大学が開学３年目をむかえ、かつ、医科大学の定員１０名増によるものです。医療収入に関しては、国の施策による診療報酬改定がなかった年ですが、本院では、外来収入が薬剤の院外処方を完全に（通年で）実施したため減少となりました（２０年度は、１２月から４ヶ月間院外処方実施）。一方、本院における稼働率上昇、平均在院日数短縮に伴う診療単価上昇により、入院収入は増加しました。その結果、医療収入全体は２９２．８億円で予算対比６．２億円の増です。その他としては、寄付金収入は１１．５億円、補助金収入は４１．５億円（篠山病院施設整備関係補助金２１億円を含む）で、帰属収入全体では４２５．６億円でした。

支出面では、人件費が１８１．３億円、教育研究経費が３７．７億円、病院全体における薬品費、医療材料費を中心とする医療経費が１５５．３億円等で、消費支出合計は３９７．８億円となりました。

この結果、帰属収入から消費支出を差し引く帰属収支差額は、２７．９億円でした。また、帰属収入から控除する基本金組入額は３７．８億円で、その結果、消費収入の部合計では３８７．９億円となり、消費支出の３９７．８億円を差し引くと消費収支差額が△９．９億円（消費支出超過）という決算となりました。

消費収支計算書　平成２１年４月１日から平成２２年３月３１日まで

（単位：円）

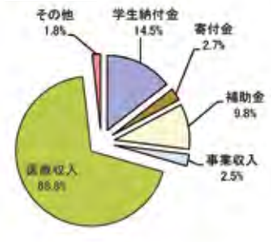
消費収入の部			
科目	補正予算	決算	差異
学生納付金	6,119,400,000	6,178,125,000	△ 58,725,000
手数料	217,440,000	236,895,500	△ 19,455,500
寄付金	863,147,000	1,147,266,288	△ 284,119,288
補助金	4,443,465,000	4,154,508,706	288,956,294
国庫補助金	2,263,458,000	2,194,921,961	68,536,039
地方公共団体補助金	2,180,007,000	1,959,586,745	220,420,255
資産運用収入	128,366,000	125,508,448	2,857,552
事業収入	29,584,119,000	30,339,237,160	△ 755,118,160
事業収入	925,164,000	1,064,022,474	△ 138,858,474
医療収入	28,658,955,000	29,275,214,686	△ 616,259,686
雑収入	684,984,000	383,352,100	301,631,900
帰属収入合計	42,040,921,000	42,564,893,202	△ 523,972,202
基本金組入額合計	△ 3,895,015,000	△ 3,776,485,167	△ 118,529,833
消費収入の部合計	38,145,906,000	38,788,408,035	△ 642,502,035

（単位：円）

消費支出の部			
科目	補正予算	決算	差異
人件費	18,011,553,000	18,131,530,430	△ 119,977,430
教職員等人件費	17,480,363,000	17,539,047,200	△ 58,684,200
退職給与引当金繰入額	475,184,000	549,342,030	△ 74,158,030
退職金	56,006,000	43,141,200	12,864,800
教育研究経費	3,788,614,000	3,765,435,327	23,178,673
医療経費	15,483,898,000	15,526,598,626	△ 42,700,626
管理経費	2,358,833,000	2,129,495,941	229,337,059
借入金等利息	72,977,000	72,587,820	389,180
資産処分差額	100,000,000	131,055,369	△ 31,055,369
徴収不能額	22,098,000	31,430	22,066,570
徴収不能引当金繰入額	0	19,157,199	△ 19,157,199
［　予　備　費　］	100,000,000		100,000,000
消費支出の部合計	39,937,973,000	39,775,892,142	162,080,858
当年度消費収支超過額	1,792,067,000	987,484,107	
前年度繰越消費支出超過額	38,463,186,636	38,463,186,636	
翌年度繰越消費支出超過額	40,255,253,636	39,450,670,743	

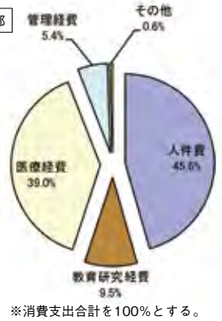
平成２１年度決算構成比率

消費収入の部



※帰属収入合計を100%とする。

消費支出の部



※消費支出合計を100%とする。

資金収支計算書については、前年度２０年度より繰り越した資金（現金預金）が６５．８億円でしたが、次年度２２年度への繰越資金は、１１５．５億円となりました。これは、急性医療総合センター建設、篠山病院整備事業及び兵庫医療大学大学院設置等大型投資案件に柔軟に対応するために手元資金を潤沢にする施策として借入れを行ったこと、期末の未収入金を減らしたこと及び特定資産として運用している有価証券が償還され、現金化したことによる影響があります。

資金収支計算書　平成２１年４月１日から平成２２年３月３１日まで

（単位：円）

収入の部			
科目	補正予算	決算	差異
学生納付金収入	6,119,400,000	6,178,125,000	△ 58,725,000
手数料収入	217,440,000	236,895,500	△ 19,455,500
寄付金収入	825,147,000	1,082,103,227	△ 256,956,227
補助金収入	4,443,465,000	4,154,508,706	288,956,294
国庫補助金収入	2,263,458,000	2,194,921,961	68,536,039
地方公共団体補助金収入	2,180,007,000	1,959,586,745	220,420,255
資産運用収入	128,366,000	125,508,448	2,857,552
資産売却収入	1,200,000,000	199,964,722	1,000,035,278
事業収入	29,584,119,000	30,339,237,160	△ 755,118,160
事業収入	925,164,000	1,064,022,474	△ 138,858,474
医療収入	28,658,955,000	29,275,214,686	△ 616,259,686
雑収入	684,984,000	383,352,100	301,631,900
借入金等収入	4,000,000,000	4,080,525,314	△ 80,525,314
前受金収入	1,083,098,500	1,079,163,500	3,935,000
その他の収入	4,482,386,362	5,042,848,657	△ 560,462,295
資金収入調整勘定	△ 3,584,673,500	△ 4,067,917,431	483,243,931
前年度繰越支払資金	6,582,691,132	6,582,691,132	
収入の部合計	55,766,423,494	55,417,006,035	349,417,459

（単位：円）

支出の部			
科目	補正予算	決算	差異
人件費支出	18,033,233,000	18,043,154,900	△ 9,921,900
教職員等人件費支出	17,480,363,000	17,539,047,200	△ 58,684,200
退職金支出	552,870,000	504,107,700	48,762,300
教育研究経費支出	2,482,622,000	2,427,459,989	55,162,011
医療経費支出	13,723,741,000	13,690,826,567	32,914,433
管理経費支出	2,274,679,000	2,070,792,228	203,886,772
借入金等利息支出	72,977,000	72,587,820	389,180
借入金等返済支出	2,406,900,000	2,489,652,191	△ 82,752,191
施設関係支出	3,149,631,000	2,564,957,792	584,673,208
設備関係支出	709,684,000	669,492,889	40,191,111
資産運用支出	1,000,000,000	0	1,000,000,000
その他の支出	4,876,402,913	4,865,969,380	10,433,533
［　予　備　費　］	100,000,000		100,000,000
資金支出調整勘定	△ 4,897,758,715	△ 3,027,231,323	△ 1,870,527,392
次年度繰越支払資金	11,834,312,296	11,549,343,602	284,968,694
支出の部合計	55,766,423,494	55,417,006,035	349,417,459

貸借対照表上では、資産のうち固定資産は、有形固定資産、その他の固定資産合わせて５４９億円で、前年度対比やや減です。２１年度中に兵庫医科大学（病院含む）・兵庫医療大学の建物・構築物・機器備品関係で相応の投資をしましたので増加要因にはなりますが、一方で、減価償却、資産処分などを行い、かつ、特定資産の異動がありましたので、やや減となったものです。流動資産は、現金預金が１１５．５億円、短期有価証券が０．９億円等で、その他と合わせて１４９億円で、資産の部合計では６９８億円（総資産）となりました。

負債のうち固定負債は、学校債を含め、長期借入金の返済を進めていますが、２１年度中に資金収支計算書で記述のとおり、新たな借入れも行いましたので、退職給与引当金を含め、１４１．２億円、流動負債は、４９．２億円で総負債は、１９０．４億円です。

基本金は、当年度に３７．８億円の組入れ増加要因があり、基本金の部合計額は、９０２．１億円となりました。

貸借対照表　平成２２年３月３１日

（単位：円）

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	54,899,816,597	55,314,125,345	△ 414,308,748
有形固定資産	53,189,581,262	53,134,026,721	55,554,541
土地	15,440,731,332	15,440,731,332	0
建物・構築物	28,137,140,470	29,059,035,065	△ 921,894,595
教育研究用機器備品	6,227,439,059	7,050,053,864	△ 822,614,805
図書	1,033,510,733	1,083,785,569	△ 50,274,836
建設仮勘定	2,138,109,500	227,599,000	1,910,510,500
その他	212,650,168	272,821,891	△ 60,171,723
その他の固定資産	1,710,235,335	2,180,098,624	△ 469,863,289
教育施設設備等引当特定資産	458,111,346	1,100,053,013	△ 641,941,667
退職給与引当特定資産	400,005,556	400,013,889	△ 8,333
その他	852,118,433	680,031,722	172,086,711
流動資産	14,901,998,760	11,690,024,442	3,211,974,318
現金預金	11,549,343,602	6,582,691,132	4,966,652,470
有価証券	90,680,000	290,644,722	△ 199,964,722
その他	3,261,975,158	4,816,688,588	△ 1,554,713,430
資産の部合計	69,801,815,357	67,004,149,787	2,797,665,570

（単位：円）

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	14,122,110,293	11,894,988,303	2,227,121,990
長期借入金	7,898,295,000	5,586,735,000	2,311,560,000
学校債	270,000,000	400,000,000	△ 130,000,000
退職給与引当金	5,885,223,413	5,796,847,883	88,375,530
長期未払金	68,591,880	111,405,420	△ 42,813,540
流動負債	4,917,934,013	7,136,391,493	△ 2,218,457,480
短期借入金	621,345,314	1,028,032,191	△ 406,686,877
学校債	10,000,000	194,000,000	△ 184,000,000
前受金	1,079,163,500	1,102,673,500	△ 23,510,000
その他	3,207,425,199	4,811,685,802	△ 1,604,260,603
負債の部合計	19,040,044,306	19,031,379,796	8,664,510

基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	87,102,441,794	83,325,956,627	3,776,485,167
第4号基本金	3,110,000,000	3,110,000,000	0
基本金の部合計	90,212,441,794	86,435,956,627	3,776,485,167

消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	39,450,670,743	38,463,186,636	987,484,107
消費収支差額の部合計	△ 39,450,670,743	△ 38,463,186,636	△ 987,484,107
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	69,801,815,357	67,004,149,787	2,797,665,570

※注記　減価償却額の累計額　38,611,041,380円
基本金未組入額　4,726,405,300円

財産目録や財務比率等含めた事業報告書は、本法人の財務情報公開にかかる閲覧要領に従い、西宮キャンパス事務局財務部において閲覧に供していますのでどうぞお越しください。

学校法人兵庫医科大学

理事・評議員の異動

理事

- 再任 森田　泰夫［平成22年6月１日付］
- 再任 野口　光一［平成22年6月１日付］

評議員

- 再任 細見　基信［平成22年6月１日付］
- 再任 大江　与喜子［平成22年6月１日付］
- 再任 山中　若樹［平成22年6月１日付］
- 新任 野原　秀晃［平成22年6月１日付］
- 辞任 毛利　好孝［平成22年5月31日付］

平成２２年度　学校法人兵庫医科大学常勤理事の業務担当

職名	氏名	担当
理事長	新家　荘平	総括
副理事長	波田　壽一	理事長補佐、情報、施設整備計画、危機管理担当
理事	中西　憲司	兵庫医科大学長
理事	松田　暉	兵庫医療大学長
理事	太城　力良	病院長、物流、地域医療担当
理事	福田　能啓	ささやま医療センター病院長、ささやま老人保健施設長
理事	難波　光義	副院長、経営企画担当
理事	野口　光一	医学教育・研究担当
理事	三村　治	広報、募金担当
理事	佐藤　禮子	兵庫医療大学副学長、2大学間連携担当
理事	馬場　明道	兵庫医療大学副学長、薬学教育・研究担当
理事	飯田　俊一	特命事項担当
理事	森田　泰夫	総務・財務担当

学校法人兵庫医科大学

兵庫医療大学のための募金　状況報告

「兵庫医療大学」のための募金活動を平成１８年５月に開始して以来、これまでに教職員をはじめ、後援会（保護者）、緑樹会（卒業生）、名誉教授、退職者等（６７０名）は言うに及ばず協力医療機関や関連企業等を始めとする幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。

本学法人といたしましては、ご協力賜りました方々のご芳名を大学広報に掲載させていただき、感謝の意を表したいと存じ、下記のとおり報告させていただきます。

皆様からご寄付いただきました寄付金を兵庫医療大学の教育研究用施設整備等充実のために利用させていただくとともに、これからも全力で大学の合理化推進等により、必要資金確保に向けて自主的努力を重ねてまいりますが、加えてぜひとも関係各方面からの更なるご支援を仰ぎお力添えををいただきたく、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（募金推進室）

H18.5.2～22.3.31

区　分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合　計	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
申　込	355件	734,692,347円	686件	221,340,000円	1,041件	956,032,347円
入　金	353件	732,692,347円	683件	220,480,000円	1,036件	953,172,347円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H21.10. 1～22.3.31

企業等法人（2法人）

匿名　2社

教職員（16名）

250,000円　清宮　健一様
120,000円　山本　憲康様

（ご芳名のみ記載）
末原　紀美代様　清水　玲子様　本田　公亮様
楊　鴻生様　青木　菜穂子様　上田　英一郎様
宮川　潤一郎様　石原　あや様　匿名　6名

学校法人兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学基金　状況報告

本学校法人は、平成２２年４月１日に学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始するとともに、基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学兵医・萌えの会を設け、その会員の皆様から会費を寄付金のかたちで募り、基金の運営に寄与することとしております。

寄付活動を開始して以来、患者様をはじめ、後援会会員、緑樹会会員、名誉教授、退職者等は言うに及ばず、協力医療機関や関連企業等の幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方からご寄付いただきました貴重な浄財は、教育・研究環境の整備や学生への奨学金等の支援を通じて、社会への貢献・還元のために使用させていただきます。

今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

H21.1.1～22.3.31

区　分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合　計	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
申　込	62件	14,630,000円	75件	5,902,498円	137件	20,532,498円
入　金	54件	11,930,000円	73件	5,272,498円	127件	17,202,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H21.1.1～22.3.31

企業等法人（63法人）

2,500,000円　グラクソ・スミスクライン株式会社様
500,000円　株式会社　オーエンス様
500,000円　全兵庫個人タクシー事業協同組合阪神支部様
500,000円　株式会社白洋舎　ユニフォームレンタル西部事業所様
500,000円　株式会社　太閤通商様
500,000円　株式会社　エイチ・アイ様
300,000円　小山株式会社様
100,000円　株式会社　大塚商会様
100,000円　有限会社　エイチ・アイ・サービス様
50,000円　阪神消毒サービス様

（ご芳名のみ記載）
鹿島建設株式会社関西支店様
丸玉給食株式会社様
日本アルコン株式会社様
くるみ薬局　武庫川店様
株式会社　西薬局様
有限会社　宝塚新樹園様
兵田印刷工芸株式会社様
株式会社　メディセオ様
株式会社　スズケン様
株式会社　ケーエスケー様
アルフレッサ株式会社様
株式会社　朝日工業社大阪支社様
株式会社　今井電気商会様
有限会社　大栄衛生様
野崎商店様
東洋建設株式会社大阪本店様
株式会社　マトリックスエージェンシー様
株式会社　南翠園様
阪神不動産株式会社様
株式会社　メディカルジャパン様
株式会社　アベックス様
有限会社　芳文堂様
株式会社　ナガサワ文具センター様
株式会社　共栄メソナ様
有限会社　クレオ様
株式会社　三晃空調様
株式会社　イージス様
島設備工業株式会社様
株式会社　木村技研様
株式会社　山武ビルシステムカンパニー関西支社様
和研薬株式会社様
株式会社　ウッドノート様
ユウキ産業株式会社様
オリックス・リビング株式会社様
八洲薬品株式会社様
株式会社　アーガス・サイエンス様
株式会社　不二家商事様
株式会社　光洋様
ヤンマーエネルギーシステム株式会社様
匿名　14社

教職員（49名）

300,000円　三村　治様
180,000円　菊地　良平様
150,000円　池内　浩基様
100,000円　山本　新吾様
50,000円　森田　峰広様
50,000円　太城　力良様
50,000円　湖海　正尋様
30,000円　小谷　穣治様
12,000円　堀井　健司様
10,000円　美内　雅之様
10,000円　長谷川　誠実様
10,000円　小川　孝博様
10,000円　重村　一二美様

（ご芳名のみ記載）
服部　益治様　道免　和久様
西原　力様　宮川　潤一郎様
芳川　浩男様　福岡　和也様
末原　紀美代様　中田　直行様
難波　光義様　赤谷　昭子様
元岡　城作様　垣淵　正男様
太田　邦廣様　平山　倫子様
植木　昭紀様　北村　威士様
髙田　泰彦様　倉田　通様
岩崎　寮子様　名塩　伊公子様
山田　明美様　三浦　恵美子様
山田　繁代様　西村　美奈様
土居　洋子様　市川　久美子様
匿名　10名

関連病院等（3法人）

500,000円　医療法人社団顕鐘会神戸百年記念病院様

（ご芳名のみ記載）
医療法人兼静会　樋口胃腸病院様
匿名　1法人

その他個人（19名）

100,000円　岸上　涼子様
100,000円　酒井　京子様
50,000円　野村　花子様
50,000円　久我　一郎様
50,000円　大塚　博様
10,000円　米原　知之様

（ご芳名のみ記載）
佐々木　宏様　土井畑　公昭様
栗山　龍男様　田代　洋子様
中川　保彦様　大田垣　和行様
中林　英男様　永岡　玲子様
杉浦　井軌様　匿名　4名

緑樹会（3名）

150,000円　池内　浩基様

（ご芳名のみ記載）
植木　昭紀様　平山　倫子様

兵庫医科大学附属看護専門学校

1,645,498円　同窓会

学校法人兵庫医科大学

規程等の制定・改正　（規程等の全文はグループウエアに掲載）

No.	項　　目	制定・改正の趣旨	制定・改正日
1	兵庫医科大学病原体等安全管理規程	研究に従事する教職員等について、感染症による病原体等の暴露及び事故を防止するため制定。	平成22年5月18日
2	兵庫医科大学「エコチル調査兵庫ユニットセンター」規程	環境省における「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」採択に伴う制定。	平成22年5月18日
3	エコチル調査兵庫ユニットセンター運営委員会規程		
4	兵庫エコチル調査運営協議会設置要領		
5	兵庫医科大学学則	平成22年6月1日に篠山病院が「ささやま医療センター」に名称変更することに伴う改正。	平成22年6月1日
6	医薬品・医療材料選定協議会規程	本院及びささやま医療センターにおける医療安全面の向上と医薬品・医療材料等の経費改善を効果的なものにするため、理事会の諮問機関として医薬品・医療材料選定協議会を設置するため制定。	平成22年4月1日
7	医療チームに関する規程	平成22年度診療報酬改定に伴い、医療チームを病院内の公式なチームとして位置づけ、その活動を明確にするため制定。	平成22年4月1日
8	病院教職員勤務環境改善委員会規程	平成22年度診療報酬改定に伴い、病院教職員の負担軽減と処遇改善を目的とした病院教職員勤務環境改善委員会を設置するため制定。	平成22年4月1日
9	透析機器安全管理委員会規程	平成22年度診療報酬改定に伴い、透析液の水質確保を行い、安全な透析を行うために透析機器安全管理委員会を設置するため制定。	平成22年4月1日
10	兵庫医科大学病院研修管理委員会規程	研修管理委員会の構成員に看護部、薬剤部の代表などコメディカルを加えるため改正。	平成22年6月1日
11	兵庫医科大学ささやま医療センター育児休業規程	「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」（※）の一部改正に伴う改正。 （※）法改正の主なポイント 1．子育て中の短時間勤務制度及び所定外労働（残業）の免除制度の義務化 2．子の看護休暇制度の拡充 3．父親の育児休業取得促進（パパ・ママ育休プラス制度） 4．産後８週間以内の父親の育児休業取得の促進 5．労使協定による専業主婦（夫）除外規定の廃止 6．介護休暇の新設	平成22年6月30日
12	兵庫医科大学ささやま医療センター介護休業規程		
13	兵庫医科大学ささやま医療センター就業規則		
14	兵庫医科大学ささやま医療センター給与規程		
15	兵庫医科大学ささやま医療センター退職金規程		
16	兵庫医科大学ささやま老人保健施設育児休業規程		
17	兵庫医科大学ささやま老人保健施設介護休業規程		
18	兵庫医科大学ささやま老人保健施設就業規則		
19	兵庫医科大学ささやま老人保健施設給与規程		
20	兵庫医科大学ささやま老人保健施設退職金規程		
21	兵庫医療大学就業規則		
22	兵庫医療大学給与規程		
23	育児休業規程		
24	介護休業規程		
25	兵庫医科大学就業規則		
26	兵庫医科大学給与規程		
27	退職金規程		
28	学校法人兵庫医科大学 人事考課規程	目標管理の充実、賞与への反映拡大、昇任人事への適用基準明確化など、平成18年4月に導入した人事考課制度の運用充実を図るため制定。	平成22年4月1日
29	看護師時間外呼出に係る取扱内規	夜間緊急手術等により時間外に呼出されて勤務する看護師に手当を支給するため制定。（従来の宅直制度は廃止する。）	平成22年4月1日
30	急性医療総合センター建設事業募金委員会内規	11号館（仮称）の建物名称が決定したことに伴う改正。	平成22年5月18日
31	人事考課調整委員会規程	「人事考課規程」の制定と組織改正に伴う改正。	平成22年6月1日

■兵庫医科大学　■兵庫医科大学病院　■兵庫医科大学ささやま医療センター　■兵庫医療大学　■学校法人兵庫医科大学

臨床栄養部は食事療養（病院食）、栄養指導、入院栄養管理・NST、在宅経腸経静脈栄養管理などを通して患者さんをサポートしています。給食管理中心の「栄養部」の時代とは変わって、管理栄養士も病棟や外来で患者さんやスタッフと直接関わりを持ちながら、栄養管理を行うようになりました。

平成１８年にはNST（栄養サポートチーム）が発足し、医師、看護師、薬剤師、言語聴覚士などさまざまな職種とチームを組んで、より高度な栄養管理が必要とされる患者さんをサポートしています。平成２２年度診療報酬改定ではNST加算が新設され、栄養のスペシャリストとして管理栄養士の活躍が期待されています。現在、医師２名と管理栄養士９名が所属し、若手からベテランまで活発に意見交換しながら成長を続けている部署です。

REPORT　職場リポート

栄養のスペシャリストとして患者さんをサポートしていきたい

兵庫医科大学病院　臨床栄養部　管理栄養士　高橋（たかはし） 留佳（るか） さん

臨床現場へと拡がる業務

主に、入院患者さんの栄養管理計画書作成、個別・集団栄養指導、NST回診、献立表確認などを担当しています。臨床現場に出た当初は、目の前で飛び交う医療専門用語やカルテの読み方など、戸惑うことも多くありましたが、少しずつ理解できることが増えてきました。医師や看護師、コメディカル等と色々相談することにより、知識や情報、人脈のネットワークが随分と拡がりましたね。

当院でもチームで栄養サポートを行うNSTが発足し、５年目になります。今年度から診療報酬にNST加算が新設され、私自身もNST専従管理栄養士として関わることになりました。院内外の勉強会や研修に出かけるなどして、NST専門療法士の資格取得に向けて勉強中です。

様々な経験、人との交流が原動力

兵庫医科大学病院に着任する前に、１年ほど保健所で勤務しました。阪神大震災が発生した直後で、仮設住宅を訪問して栄養面から被災者のサポートに関わるという経験をしました。さまざまな環境で栄養管理がどのように関わっていけるかを知ることができ、とても勉強になりました。

現在の職場でも、立場や職種を越えて、さまざまな知識や情報を得ることが非常にいい刺激になります。栄養のスペシャリストとしてより専門的な提案をしたいと毎日が勉強です。チームの力で、少しでも患者さんによりよいサポートをしていきたいと思っています。

管理栄養士の活躍の場を確立させたい

生活習慣病が増加し、予防医学なども重要視される時代にあって、栄養面でのサポートがさまざまな治療を支えているという期待から、管理栄養士の活躍の場は拡がりつつあります。そのため、知識や経験を生かして学会発表や論文執筆なども積極的に行い、医療における「栄養に関するエビデンス」を確立し、管理栄養士が活躍できる場を開拓していきたいと思っています。ICTや緩和ケア、褥瘡（じょくそう）対策チームなどとの連携、外来でのNST実践などにも介入し、チーム医療の一端を担っていきたいと考えています。

栄養指導では患者さんにただ医学的根拠を説明するだけではなく、どうやれば続けられるかをアドバイスして、少しでも実践する気になってもらえるように心がけている。「患者さんに『聞きに来てよかった』と言っていただくこともり、やりがいを感じます」

整形外来ではスポーツ障害、スポーツ外傷、脊髄疾患、リウマチ、関節疾患、手の疾患、骨代謝性疾患、骨軟部腫瘍などの診断・治療を受けられる患者さんが来られます。

近年は入院期間が短縮される傾向にあり、外来で診察や処置を受けられる患者さんが増えています。整形外科では診療と外来手術や自己血貯血、ギプス巻き、注射などの処置が同時進行します。忙しい職場ですが、医師やスタッフは仲が良く、他科や病棟とも連携して患者さんをサポートしています。子育て中の看護師も多く、家族に支えられながら、元気いっぱい働いています。

REPORT 職場リポート

看護師として、母として、頑張っています！

兵庫医科大学病院　看護部　整形外来　板谷（いたに） 寿恵子（すえこ）さん　田中（たなか） かおるさん（左から）

「あなたに会うと元気になる」と言ってもらえるように
ー　板谷　寿恵子さん

５年前に第３子を出産し、整形外科に復職しました。途中ペインクリニック部での勤務も経験し、両方の職場で得た知識や経験が相互に生かされています。ここでは診察と処置が同時に行われるため、診察室と処置室の行き来で忙しいですが、患者さんが見せてくださる笑顔に支えられています。

本学での勤務年数は２０年余り。３度の出産を経験し、復職して頑張ることができたのは、何よりも看護師の仕事が好きだから。今でも、困難なことや新しいことを着実に自分のものにした時にやりがいを感じます。そして、患者さんに「あなたに会うと元気になる」と言ってもらえるようになりたいと思い続けています。

いつも応援してくれる家族との時間も力になっています。まだ子どもたちの将来の夢は聞いていませんが、中学２年生の長女は友達の体調が悪い時など率先してケアをするタイプのようです。私の背中を見ているからかわかりませんが、そうであれば嬉しいですね。

多様化するニーズに応えていきたい
ー　田中　かおるさん

高校時代はバスケットボール部に所属していたスポーツ好きで、当時から人間の運動機能に関心がありました。希望の整形外科に配属されて９年目になります。歩行が困難な患者さんが多くおられるので、診察室や処置室、待合室での安全対策には特に気をつけています。不安いっぱいの様子で来られた患者さんが無事に処置を受け、安心した表情で帰られる姿を見ると本当にほっとしますね。

患者さんやご家族には検査や処置のこと、薬の取り扱い方などを正しく理解してもらい、院内だけでなく地域の病院やご家庭に戻られた時にも、少しでもリスクを減らし、より早く回復してほしいと考えています。必要とされるサポートは多様化しているので、知識を高め、視野を拡げていきたいです。

私も２人の子育てに奮闘しながら勤務しています。家庭と仕事の両立は大変ですが、ドライブをしたり、社会人チームのバスケットボールで汗を流したりして、気分転換をしながら頑張っています。

卒業生紹介 Graduate introduction

略歴

昭和60年3月	兵庫医科大学卒業
昭和60年6月	兵庫医科大学小児科入局
昭和62年6月	大阪府立母子総合医療センターレジデント（新生児科、循環器科）
平成元年6月	兵庫医科大学小児科 医員
平成4年3月	国立小児病院麻酔集中治療科レジデント
平成5年6月	国立小児研究センター病態生理部門 研究員
平成6年10月	国立小児病院麻酔集中治療科医員
平成10年7月	The Lawson Research Institute(London,Canada)にてpost-doctoral fellow
平成13年7月	国立小児病院新生児科 医員
平成14年3月	現職

第8期生　中村（なかむら） 知夫（ともお）さん
独立行政法人　国立成育医療研究センター
周産期診療部新生児科　医長

近況

独立行政法人 国立成育医療研究センターは産科、小児科の専門病院で、不妊、不育、さまざまな疾患を持った胎児、新生児、小児への高度な医療の提供、研究を目的としています。新生児科は、未熟児の管理だけでなく、出生前に診断、加療された新生児の精査、全身管理を、外科、専門小児内科部門と連携しながら行っており、複雑な複数の先天性疾患のために出生直後の手術を必要とする新生児も多く入院してきます。また、学生や研修医の指導、講義、在宅医療の推進、新生児蘇生技術の普及、ラオスでの医療協力などの仕事も行っています。

学生時代の思い出

講義には毎日出席していましたが、ラグビー部でひたすら体力の向上を目指す学生でした。何度も追試を受け、両親を始め、多くの友人、顧問の故齊藤先生に迷惑をかける日々でした。

卒業後に学んだこと

兵庫医科大学の小児科に入局し、研修後は国内外の病院で研修、研究をさせていただきました。その中で、基本知識、まじめに取り組む姿勢を身につけ、多くの人と意見を交換し最後は自分で判断することが大切であることを学びました。素晴らしい仲間や上司に出会えたことは今の仕事につながっています。

学生に向けてのメッセージ

医師としての自己を確立できるよう、失敗を恐れることなく、常に新しいことにチャレンジし、自分の殻をぶち破ってほしいと思います。自身の反省をこめて、英語はしっかり勉強しておいてほしいですね。

多彩人 “自然を愛する”多彩人

病理学（機能病理部門）主任教授
寺田 信行さん

病理学（機能病理部門）主任教授の寺田信行さんは月に１度、奈良県にある二上山のふもとの、竹内峠近くの植林地で間伐ボランティアをしている。間伐は他の樹木の生育を促すために“間引く”ための伐採。木々の間隔をあけて、枝葉や林床に太陽の光を届かせることで、動植物が生育しやすい環境となる。もともと体力づくりを兼ねた低山登山が趣味で自然への思い入れが深い。奈良圏域の山に登った際、太子人工林間伐隊の活動を知った。

３人位で協同して、直径２０-３０センチ・高さ約２０メートルの檜をのこぎりで切り倒す。１本あたり倒すのに３０分ほどかかり、倒した木は枝を落として一定の大きさに切断し、腐らせて土に戻す。「木が想定外の方向に倒れると非常に危ない。ロープや滑車を利用して倒す方向を調整し、危険を回避します。怪我をしないよう、安全第一でやっています」

間伐により植生が回復すると、森林のダム機能の回復、山地崩壊の防止、林業の復活なども期待できる。“ボランティア”という意識はあまりなく、冬は豚汁、夏はカレーなどの「抜群に美味い」まかないの昼ごはんを楽しみに通っている。「さまざまな年齢、職種の人たちとの交流も新鮮です。楽しみながら、結果的に森林再生に繋がれば嬉しいですね」

「登山は飽きのこない健康法。山道を歩くことはもちろん、地図を眺めてルートを探しだすのも楽しい。程よく疲れ、心身ともに癒されます」

さまざまな分野で才能を開花させている、極めている、アクティブに活動している”多彩人“の情報をお待ちしています。自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。
<電話：０７９８－４５－６６５５　メール：kouhou@hyo-med.ac.jp>